

令和6年度メディアアーツ創造都市札幌の人材育成業務 公募型企画競争 評価基準表

評価項目・評価の観点		配点	
1.業務執行能力全般 (計15点)	(1)業務運営体制	15	
	・ 人員体制、配置、経験、実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 提案者が本事業の実施に関する専門知識・ノウハウ、ネットワーク等を有しているか。</li> <li>■ 提案者の「過去3年間の主な業務実績」が本業務に有効に活用できるか。</li> <li>■ 業務従事者の経験、実績、配置等の観点から、業務全体を円滑に進められる体制となっているか。</li> </ul>	10
	・ 業務全体スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各業務の想定スケジュールが具体的かつ計画的であるか。</li> </ul>	5
2.企画提案内容 (計70点)	(2)ワークショップの開催及び成果の発表	35	
	・ 講義内容、講師例、参加者が制作する物のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップの内容や制作物について、具体的かつCG制作未経験者でも参加可能なものであり、かつ、興味・関心を得られる内容となっているか。</li> <li>■ 札幌独自の自然や環境保護などを切り口とした参加者への話題提供や学びの機会の提供がなされる内容となっているか。</li> </ul>	10
	・ 成果発表のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最終成果物の放映について、関連機関・イベント等との連携などが考慮された、本事業を市民や来街者等に広くPRできる等効果的な放映が期待できる提案となっているか。</li> <li>■ 放映と連動した参加者へのフィードバックについて、参加者のモチベーション向上につながる工夫がされているか。</li> </ul>	10
	・ 参加者の支援方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参加者の途中脱落を防ぐための支援体制や工夫がされているか。</li> </ul>	5
	・ 開催手法、スケジュール、参加者募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップ・成果発表共に、参加者に過大な負担をかけず、参加しやすい手法・スケジュールとなっているか。</li> <li>■ 募集スケジュールや告知手法が効果的であり、CG制作未経験者を含む若年層市民に募集情報が届くような工夫がされているか。</li> </ul>	5
	・ 参加者以外の一般住民に対する学習機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップ参加者以外の一般住民に対する学習機会について、広く一般住民が認知し得るような工夫がされているか。</li> </ul>	5
	(3)ネットワーキング・コミュニティ形成促進イベントの開催	10	
	・ 内容、テーマ、開催手法、参加者募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベントの内容について、具体的、かつ、創造的活動未経験者でも参加可能なものであり、興味・関心を得られる内容となっているか。</li> <li>■ 参加者に過大な負担をかけず、参加しやすい方法・スケジュールとなっているか。</li> <li>■ 募集方法について、若年層市民に募集情報が届くような工夫がされているか。</li> </ul>	5
	・ 参加者や関連人材間のコミュニケーションを誘発する仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参加者間や関連人材間のコミュニケーションを誘発するような工夫がされているか。</li> <li>■ 参加者の創造的活動の活性化、及び、緩やかなコミュニティの形成が目指せる内容となっているか。</li> </ul>	5
	(4)人材育成・支援施策の調査検討	5	
	・ ワークショップ、ネットワーキング・コミュニティ形成促進イベントの検証に係る計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップやネットワーキング・コミュニティ形成促進イベントの実施効果の定性的な評価や今後の施策の検討が期待できる効果的な計画となっているか。</li> </ul>	5
	(5)CG映像制作	10	
・ 映像内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鑑賞者が「未来のさっぽろの水族館」の映像鑑賞体験を通じて札幌独自の自然の魅力に触れられる内容となっているか。</li> <li>■ 「『ひと』『ゆき』『みどり』の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ」を想起させるような本市のブランディングやPRに資する内容・展開となっているか。</li> <li>■ ワークショップにおける参加者の制作物が違和感なくCG映像本篇に活用・反映できる内容となっているか。</li> <li>■ 提案内容が実現可能なものであるか。</li> </ul>	10	
(6)国外ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携映像の制作	10		
・ 映像内容、背景映像	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 制作するCG映像の内容が具体的にわかりやすく、札幌市民はもちろん、海外都市の住民にも訴求力の高いものとなっているか。</li> </ul>	10	
3.その他 (計15点)	(7)その他	15	
	・ 独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本事業の主旨・目的を理解した内容であり、実施によって相乗効果が期待されるものであるか。</li> </ul>	10
	・ 積算の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 札幌市の提示する予算上限額以内の提案になっており、かつ配分が適切であるか。</li> </ul>	5